

# 第1A分科会 研究課題「教育課程に関する課題」 研究主題「地域の特色を活かした学ぶ環境づくり」

提言者 都城支会 都城市立山之口中学校 蓮井 伸二

## 1 主題設定の理由

新学習指導要領では、変化の激しいこれからの社会を生きる子どもたちに対し、未来を切り拓くための資質・能力を確実に身に付けさせるために「社会に開かれた教育課程」を重視することと記されている。

子どもたちは、「他人と協働することで、自分の人生や社会をよりよくできる」「自分の力を、他人の人生や社会をよりよくするために活かすことができる」という社会とのつながりの中で学ぶ体験をすることで、変化の激しい社会においても、困難を乗り越えていく力を身に付けることができるであろう。

これからの学校においては、社会と連携・協働した教育活動を充実させることがますます求められる。そこで、地域の特色を生かしたカリキュラムマネジメントの確立が必要である。そして、そのための学ぶ環境を整備する教頭の役割は大変重要であると考え、本主題を設定した。

## 2 研究のねらい

それぞれの学校における、連絡調整や企画運営において教頭が関わる具体的な取組事例を基に、地域の特色を生かした学ぶ環境づくりについて追究する。

## 3 研究の概要と成果

### (1) 学校支援活動において

#### 【山之口小学校】

本年度は、11月の参観日(オープンスクール)の活動内容を変更し、地域の方を講師または支援者として各学年1・2名お招きして工作やスポーツに取り組むことにした。その際事前に学校運営協議会やまちづくり協議会に活動内容やどのような支援が必要かを相談するとともに、児童委員や民生委員に参加の依頼をしておいたことで、活動しやすい雰囲気づくりをすることができた。

ここ数年交流活動の実施が難しかったが、久しぶりの活動は児童にとって地域の方と親交を深めるよい機会となった。

#### 【富吉小学校】

本校では、朝の読み聞かせや学力定着に関わる時間、教科指導における栽培等の学習支援していただいている方を「学習支援ボランティア」と位置付け、様々な協力をいただいている。年度初めに地域コーディネーターに年間計画を依頼し、変更や調整連絡を教頭が行っている。

また、本校では地域の伝統芸能である、「棒踊り、俵踊り」の継承活動を行っている。次年度は総合的な学習の時間に位置付け、



地域の方とも協力し、踊りの歴史や継承していく思い等も学んでいく計画にしている。

#### 【麓小学校】

本校は、行事や学習支援、環境整備等において地域や保護者の多大な協力に支えられている。そして、子どもたちが将来社会とつながる重要な役割を担っていただいていると言える。今年度は、感染症対策を講じながら、地域との連携継続に努めている。例えば、「麓小・麓地区合同運動会」は、地域の声を生かし、学校の目標も達成するために、地域参加の競技数の変更や場の工夫等、状況に即したあり方について地域・保護者・学校で検討を重ね、合同運動会の開催につなげた。



また、麓小ボランティアコーディネーターの委嘱により、地域ボランティアと職員との連絡調整が円滑になり、子どもたちがボランティアの方と学ぶ環境が広がっている。

#### 【高城小学校】

本校は、敷地内に高城幼稚園、敷地の隣に高城保育所が立地されており、幼・保・小の関わりがすぐにとれる環境である。この好条件を生かし、昨年度は、幼稚園・保育所職員が

朝の読み聞かせ活動を行った。本年度は、1年と6年で幼稚園との交流会を行う予定である。

また、紙芝居団体(学校運営協議会委員が所属)も協力して読み聞かせを行っている等、保護者と幼稚園・保育所職員、そして、紙芝居ボランティア等、幅広い年齢層及び職種での活動により児童達の読書への興味・関心の高まりも見られた。年を追う毎に活動に工夫を加えている。さらに、授業サポートという名称で授業時間に取り組むプリントの丸つけや学習中の児童への言葉かけ等を行っている。この学習支援活動は、地域の方の自主的取組で、特に算数科での支援をいただいている。

## (2) 地域に開かれた教育課程 (学校運営協議会)

### 【山之口中学校】

本校では、学校運営協議会が主催し、「地域で働く社会人の体験談を通して、将来の職業や生き方を考えるとともに、故郷をこよなく愛し、将来を担う生徒の育成に貢献する。」をねらいとして、年に2回「キャリア教育集会」を実施している。山之口地区に縁のある方(出身者、在住者)への講演依頼・当日の運営を委員の方に行っていた。様々な職種の方にお話をいただき、生徒にとっては、今後の生き方について大きな学びとなっている。



### 【高城中学校】

コミュニティー・スクールを活性化するため、防災士である学校運営協議会委員の協力をいただいた。担当教諭は、避難訓練実施のための計画や運営に必要な知識、避難のためのノウハウを教わり、それを基に計画立案をし実施した。さらに、生徒への講話も機会を設定することができた。成果として、地域人材のもつ特性や専門性を生かす取組ができた。特に今年度は生徒主体の避難訓練を実施することができた。



## (3) 地域貢献活動

### 【石山小学校】

本校では、毎年6月に、地域の方々との「ふれあいの日」を設定し、活動をしている。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、6年生のみが地域の方々と道路わき法面の花壇の花植えを行った。児童は、手順や植え方等の指示をいただきながら地域の方と会話を交わし、手際よく作業することができた。

活動後、地域の方々には、「児童と触れ合うと元気をもらえると喜んでおられた。自分たちが植えた花を見る児童の顔には、穏やかな笑顔があふれていた。



### 【有水小学校・有水中学校】

有水地区は、少子高齢化が顕著であり、地域の活性化と貢献できる取組が学校に求められている。これまで、地域と学校、PTA活動が一体となって、「家具固定活動」や「クリスマス会」、「防災キャンプ」などの取組を行ってきた。昨年度は、コロナの影響により、防災キャンプが実施できず代替策として、防災キャンプで使う防災食を使い、各家庭で「防災ディナー」に取り組んだ。各家庭から、SNS上にアップロードすることによって、ふだんからの備蓄の大切さ、寒さ・暑さ対策、トイレ等への経路の確認、食事ができることのありがたさ等、災害時に係る様々なことを共有することができた。本年度は実施する予定である。



## 4 今後の課題

- 地域の特色を生かした教育を進めるために、地域をよく知る人材を発掘し、学校運営協議会の委員として「地域の調整役」を担っていただける体制をつくる必要がある。
- 地域のよさや特徴が最大限に学校教育に生かされるように、地域と学校が互いに情報収集や共有をする必要がある。